

平成30年第4回(9月)市議会定例会本会議報告について

教育総務課

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p><b>【倉島さやか議員】</b>            幼児教育・未来投資について</p> <p>① 幼保小中高連携について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しく改定された保育所指針では、小学校教育との接続の強化、すべての学校で教育の質の確保をし、小学校以降につながられるよう改定されています。千曲市において改定後どのように取り組まれたか。現在、幼稚園・保育園から小学校への連携では、小学校教諭が保育園見学に来ていますが、保育士が見てもらいたい時に時間が合わないという課題があります。保育所保育指針も踏まえ、今後どのように対応していくのか。また、キャリア教育の視点で、幼・保・小・中・高の各発達段階において、必要な教育を体系的・統計的に進め、学校から社会生活への円滑な移行が大切とされていて、幼・保におけるキャリア教育とは、自発的・主体的な活動を促すこととなっています。千曲市の現状と課題、今後の対応策について伺います。</li> </ul>	<p><b>【教育部長】</b></p> <p>幼稚園・保育園から小学校への移行時につきましては、小学校区ごとに幼保小連絡会を開催しています。また、特別に配慮を要する園児につきましては移行支援会議を通して、小学校生活にスムーズに移行できるように配慮しています。</p> <p>キャリア教育につきましては、千曲市では平成26年度よりキャリア教育コーディネーターを置き、各校のキャリア教育の推進を図っています。各小中学校では、キャリア教育年間指導計画にもとづいて、日常生活、各教科、道徳、特別活動、生活科、総合的な学習などの学習活動を通して、児童生徒のキャリア発達を促しています。</p> <p>コミュニティスクールや職場体験学習において、児童生徒が地域・地域の方々から様々なことを学ぶことも大切なキャリア教育の一つと考えて取り組んでいます。</p> <p>幼年期では、自発的・主体的な活動を促すこと、高校では生涯のキャリア形成に必要な能力を育成し勤労観・職業観を確立することがキャリア教育の目標と考えられますが、幼稚園・保育園・高校との連携が今後の課題ととらえています。</p> <p>来たる10月5日に「幼年教育」教育課程研究協議会を戸倉保育園と戸倉小学校で行います。幼年期のキャリア発達につきましても研究を深めてまいります。</p>

**【柳澤眞由美議員】**

子どもの命と学習環境を保証するエアコンの導入について

- ① 教育長は災害的猛暑の今夏、学校現場の子どもの様子をどう感じたか。伺います。

- ② これまでに治田小学校音楽室、小学校普通教室に5台導入した。学校の温度調査結果から、今夏の教室の子ども達の学習環境と健康状態はどうだったか。

私の調べた、6月から8月の気温で30℃を超えた日を示したが、8月22日は39℃になっています。公明党としては、8月6日にエアコン設置等の緊急要望を市長にし、国会議員にも7月に2回、補助の要望をした。また、8月10日には、林文部科学大臣にも予算要求した。大臣

**【教育長】**

この夏は6月の下旬に梅雨明けとなり、連日猛暑が続きました。教育委員会では、毎年行っている学校訪問を、今年の7月に集中して6校で行い、教育委員と共に教室の室温を体感し、児童・生徒の様子を見させていただきました。

私どもが授業を参観したのは午前中でありましたが、すでに室温が30℃を超えている教室もあり、連日の暑さで熱気が校舎内にこもっているように感じました。

児童や生徒はこの暑さの中でも一生懸命に授業に取り組んでおり、感心いたしました。暑さに加え湿度も高い状況では、授業に集中するのは困難であること、また、授業を行う先生方の大変さも痛感したところがあります。こうした状況を踏まえ、急を要する2校の一部教室につきましては、予備費を充当して、夏休み中に、エアコンを設置いたしました。国や県の動向にも変化が見えますので、今後とも子どもたちの健康を守り、学習意欲を持って学校生活を送れるよう、学習環境を整えていくよう努めてまいりたいと考えております。

**【教育部長】**

治田小学校音楽室と普通教室に設置した5台のエアコンの調査結果についてですが、治田小学校の音楽室に設置したエアコンについては、部屋の大きさに見合う能力のエアコンを設置しているため、音楽の授業や金管バンドの練習の際にも快適であり、児童が教育活動に集中できると聞いております。

約36畳の普通教室に設置した、能力が約17畳から26畳用の家庭用エアコンにつきましては、高い室温の状態エアコンを始動させると、室内に児童がいる場合に、1、2℃

は、8月23日に公立学校施設整備費の大幅増額を目指すことを表明している。命を守るエアコンの導入事業の具体的プロセス、日程、導入時期について伺います。

温度が下がりました。学校の感想としては、温度と共に湿度も下がったためか、「結構、快適に感じた。」とのことでした。

また、能力が約21畳から46畳の業務用エアコンを設置した4教室につきましては、設定温度まで室温が下がりました。

今回の結果では、同じ能力のエアコンではないので、比較はできませんが、その効果は大きいと考えています。

今夏行った各学校の教室の温度調査結果を見ますと、すべての学校で室温が34℃以上となっている教室があり、子ども達の健康状態も心配されたわけでありますが、休み時間の運動を控えたり、スポーツドリンクの携行を認めるなど、各学校で対策を講じていただいた結果、授業時間中に重大な熱中症になったとの報告はありませんでした。

しかしながら、7月に屋代中学校において、部活動中に軽い熱中症になった事例が発生したことや、全国各地で熱中症の事故が多発していたことから、気温が35℃を超えた場合は、小学校のプール開放や中学校の部活動を中止することとしたほか、夏休み中の部活動についても朝夕の涼しい時間帯を主とすることとし、生徒の健康管理に十分配慮するよう各学校に通知をして、熱中症予防に努めていただきました。

なお、今後のエアコン導入の具体的なプロセスについてですが、国の補正予算でエアコン設置の補助金が早期に採択される場合を想定し、現在、エアコンの動力方式の検討と実施設計作成に向けた準備を進めています。

市としては、国の補正予算採択の動向にもよりますが、今後、補正予算に空調関連工事費の予算を計上し、来年の夏から順次、設置することを目標に準備を進めていきたいと考えております。

**【再質問】**

来年度千曲市内すべて小中学校に導入するというのでよいか。伺います。

**【中村了治議員】**

人口減少・少子化対策について

千曲市の児童数減少の現状はどのようにとらえているか。

- ① 千曲市教育委員会の資料では、児童数の推移を見ますと、2019年度、465人、しかし2024年度予測数は、430人と5年間で35人の減少となる見込みです。学級数も18から16に減る見込みです。この傾向の背景・要因をどのように分析しているか伺います。

**【齋藤正徳議員】**

千曲市の教育について

- ① 教科書展示期間中は、会場入り口に案内板等の設置をしたらどうか。
- ・ 教科書展示会は、子ども達が使用する教科書や教科に対する理解を深めるために大切な機会であります。中学校の道徳の教科を閲覧に訪れたが、総合教育センター入り口に展示会場である案内がなかったが、今後改善できないか。
- ② 「道徳の教科化」は、国の規定する道徳的価値に沿って行われる仕組みが出来上がり、教科書にある徳目の押し付けにあるのではとの心配があるが。
- ・ 愛国心を柱とする道徳教育復活の圧力が強まり、週1回の道徳時間が特設されました。今回新たに「特別の教科道徳」いわゆる道徳科が設置され、教科書の使

**【教育部長】**

国の補助金の採択にもよりますが、温度の高いところから順次設置をしております。

国が全教室分の予算を付けていただければ、全教室の設置は可能です。

**【教育部長】**

千曲市の児童数減少の背景・要因につきましては、全国的な少子高齢化の進行と同様に、子どもを産む年代の女性の減少に加え、晩婚・未婚化と、核家族化の進行、不安定な雇用など、子育てに対する不安などが、影響していると推察しております。

**【教育部長】**

教科書の展示のお知らせにつきましては、ホームページや市報で広報いたしました。案内板は、会場内に設置していましたが、今後は、より分かりやすくお知らせするため、会場の入り口にも案内板を設置してまいります。

**【教育長】**

国の規定する道徳的価値にそって、徳目の押し付けが行われるのではないかと議員のご懸念の質問と承りました。これまでの道徳の授業は、年間35時間として、道徳性を培うことを目指してきましたが、課題もあり、指導内容を学校独自で決定しなくてはならない、いじめ問題に対応していない。

あるいは、読み物資料の感想を述べ合うこ

用が義務付けられました。今年から千曲市の小学校、来年は中学校で実施されます。そこで質問です。授業では、道徳的価値を押し付けることは極力排除し、多面的・多角的に考え、児童生徒の多様な見方考え方を引き出し、議論できる授業をどのように展開していくのか重要と考えるが、市教委の見解を伺います。

#### 【再質問】

徳目の押し付けにならないようにとのことですが、人権や民主主義、多様性を認めること、表現の自由など、憲法的な価値が含まれていないなど、この徳目に多くの問題があるといわれております。

指導主事から「とにかく今は質より量だ。教科書を使って確実に 35 時間実践するように。」と指示されている。教師が教科書どおりでよいか「考え、議論する道徳」をどう意識して構築することが大事と思うが。市教委の見解を伺います。

- ③ 道徳性を評価することで、子ども達の内心の自由が侵される心配はないか。
- ・ 学習指導要領では、数値でなく、記述式であること。その子の道徳性に関わる成長の様子を記述するとあります。

子ども達が評価を意識して本音を隠し、表面上の「よい子」を演じることが

とに終始したり等、改善すべき課題も指摘されておりました。

特に、平成 23 年の大津市での深刻ないじめや、近年のネット上でのいじめ問題等への対応から、文部科学省では、従来の道徳を「特別の教科道徳」として、「読みもの道徳」から、「考え、議論する道徳」へと転換させ、物事を自分のこととして捉え、多面的・多角的に考える学習が行えるよう、新しい学習指導要領を定めたものと承知しております。

千曲市におきましては、全教員が同じ視点で授業を実施できるように、先月、文部科学省の教科調査官を講師に迎え、講演いただいたところであり、議員ご懸念の徳目の押し付けにならないように、学習指導要領の趣旨に沿って進めてまいりたいと考えております。

#### 【教育長】

指導主事、現場の先生の話は承りましたが、実際に使用する教材を見ると、「指示に従うのがよいか」、「自主性で行うのがよいか」文字どおり、考えさせる教材ばかりであります。型にはまって教える教材としては見えないと思っております。質より量ではなく、多様性や「考え、議論する」教材となっていると考えております。

#### 【教育長】

道徳の評価は、道徳の授業で自分のこととして考えているか、あるいは、他人の考えをしっかりと受け止めているか、といった個々の成長の様子を丁寧に見て行き、「数値」でなく「ことば」による評価とし、個人の成長を評価するもので、他の子どもたちと比較するものではありません。

懸念される。かえって、道徳性を歪ませてしまうことにならないか。子どもの人格をマインドコントロールすることにならないか。市教委の見解を伺います。

#### 【再質問】

子どもの心の内面を教師が評価する、特に道徳性についての評価は大変難しいと思う。子どもの人格や内面を評価できるとすれば、子どもと教師に深い信頼関係が必要であり、教師が子どもを励まし、支える中ではじめて教育的に作用すると思います。そこで評価は、多面的・多角的に考えることが大切で学校で議論する必要性を感じるが。市教委の見解を伺います。

- ④ 平成30年度全国学力・学習状況調査(学力テスト)の千曲市の結果概要は。
- ・ 県教学指導課が公表した結果では、国語と理科は概ね全国平均並み、数学と算数はいずれも1から2ポイント全国平均を下回った。県教委は事態を重く受け止め、「算数・数学重点対策チーム(仮称)」を立ち上げ、授業改善の方策を探るといふ。千曲市の公表は、まだですが、おおまかな傾向は県の分析と変わらないか伺います。

議員さんが懸念されているように、「子どもたちが評価を意識し本音が言えなくなる」ことがないように、文科省担当者より、次の2点について指導がありました。

(1) その子がいかに成長したかを受け止め、未来に向けて、励ます「個人内評価」として行う。

(2) 発達障がい等の児童生徒については、配慮すべき観点等を教員間で共有する。

という、学習指導要領の趣旨に沿って進めてまいりたいと考えております。

#### 【教育長】

その子を多面的・多角的に評価できるように、教育の現場では、全員で打合せをして、校長先生のリーダーシップの基で、新しい指導要領がうまく実践できるように、教育委員会としても指導してまいります。

#### 【教育長】

千曲市の結果概要につきましては、10月公表に向けて、現在、分析を進めておりますので、もうしばらく、お待ちいただきたいと思います。長野県教育委員会が8月23日に公表した資料によれば、長野県の小学校6年生の算数と中学校3年生の数学については、全国平均をやや下回っている現状がございます。

千曲市の状況もおおむね県全体と同じ傾向にあり、長野県教育委員会はこのほど「算数・数学重点対策チーム」を設置し、すべての学校の授業改善を支援することのございますので、千曲市においても県と連携し

- ⑤ 学力テストの成績と教員の人事評価を連動させる制度について市教委の見解は。
- 学力テストの結果が政令市で最下位だったことを受けて、今後学力テストの結果を校長や教員のボーナス（勤勉手当）に反映する方針を示した自治体が現れ、議論を呼んでいる。テスト対策に教師が追い詰められると、勉強が苦手な子どもは益々追い詰められ、学校嫌いや不登校が増えることが予想されます。また、答案の捏造、改ざんなどの操作が起りかねません。市教委の見解を伺います。

#### 【再質問】

この政令市は、全国でも特に厳しい貧困の問題をかかえているとお聞きしています。自己好転化の低い、非行や虐待は、子どもの貧困と密接に関係しています。

このような子ども達を励まして、生きる力をつけるために、頑張っている現場の先生方のやる気を挫くことがあってはならない。困難さをかかえる学校現場には、子どもに寄り添う教員ときちんとした予算の確保が必要と考えますが、市長に伺います。

#### 【中村眞一議員】

大型建設事業等とソフト面の作業は。

- ① 戸倉上山田中学校改築事業の完成検査が8月8日に終わり、9月29日に竣工式が行われますが、生徒は9月7日に引越しを終わっています。昨年夏に中間検査が終了し、完了検査も終了しております。

て、一層学力向上に努めてまいりたいと思います。

#### 【教育長】

平成19年に始まった全国学力・学習状況調査の趣旨、目的は、児童生徒の学習の状況を見極めて、家庭での様子等について理解しながら、学校の指導が児童生徒にとってふさわしいものであるか、また、その効果を上げているものであるかについて見直し、授業改善に生かしていくためのものです。

そのような目的で実施されているものであるので、全国学力・学習状況調査の結果が、それ以外の目的に使われることは、千曲市教育委員会としてもあり得ないものと考えております。

#### 【市長】

教育現場で、教える先生と子ども達の信頼関係がもっとも大切と思っています。

その信頼関係を築くための環境整備は、行政がしっかりしていなければならないと考えております。

#### 【教育部長】

各施設の運用と安全面のチェックについてですが、施工業者は、完成後も何度も試験運転を実施し、安全を確認した上で、引越し前から先生方に施設内の機器等の使用方法について説明を行い、新校舎の機器等の操作面等の不明点については、あらかじめ確認を

す。各施設の運用と安全面のチェック、を早い段階で行うべきと思うが。市教委の見解を伺います。

していただきました。

建築工事の現場事務所などは、工期の終わりとなる 8 月末までにすでに撤収されていたため、9 月 7 日・8 日の引越し作業の時は、特に危険のない状態で行うことができました。9 月 10 日からは、新校舎での授業が支障なく始まっております。

今後、新校舎での学校生活をしていく中で、万一不都合な点や不明点が発生した場合は、学校生活に支障の出ないように、迅速に対応してまいりたいと考えております。

また、これから外構のⅡ期工事や仮設校舎の撤去作業などを行ってまいります。生徒の安全な動線確保には特に注意し、事故のないよう進めてまいります。

#### スポーツ振興課

#### 質問者・質問の要旨

【中村眞一議員】

大型建設事業等とソフト面の作業は。

各建造物等の十分な検査の実施と運用面(ソフト面)のチェックは適切に行っているのか。

③新体育館、駐車場—活用上の安全面のチェック、市民の活用 PR をお伺いいたします。

#### 答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策

【教育部長】

「新体育館、駐車場活用上の安全面のチェック、市民の活用 PR について」であります。

「ことぶきアリーナ千曲」及び、立体駐車場につきましては、9 月議会初日の市長「諸情勢の報告」で申し上げましたとおり 9 月 1 日にオープンし、使用開始しております。

「ことぶきアリーナ千曲」においては、移動式観客席及び各種スポーツ器具など、これまでに無い設備が設置されていることから、これらの使用に際しては慎重な取扱いが求められます。特に移動式観客席に代表されるような、大型設備は少人数での設置が難しいことから、利用される皆さんのお手伝いもいただき、事故等の無いよう安全面のチェックを実施しつつ運用してまいります。

立体駐車場は、新庁舎が稼働するまでの間、「ことぶきアリーナ千曲」と「更埴文化



	<p>会館」等の利用者用駐車場となりますが、安全面については、随時チェックを行うとともに、夜間の施錠の徹底や、騒音、アイドリング禁止看板設置による注意喚起など、周辺住民の皆様への配慮にも努めてまいります。</p> <p>いずれにいたしましても、両施設の連絡を緊密に取りながらの運用となりますので、大きなイベントなどの開催時には、主催者に場内整理等の誘導員を配置するよう指導を行い、安全面の確保を図りながら、活用をPRしてまいります。</p>
--	--

歴史文化財センター

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p><b>【齋藤正徳議員】</b> 身近な里山の自然や歴史に親しむために について ・市民が気軽に散策できる一重山にするために、遊歩道や案内板を修復・整備したらどうか。</p> <p>再質問 ・松枯れ木の倒木や案内板の老朽化、遊歩道の未整備箇所等整備すべき課題は多いが、地元ボランティアの力を借りることは必要であり、協働によりルート点検を行う等今後の見通しはどうか。</p>	<p><b>【教育部長】</b> 一重山遊歩道の整備については、屋代城跡の遊歩道に設置した丸太階段の一部が腐食し通行に支障が出てきたため、平成27年度と28年度の2カ年わたり丸太階段80メートルを修復した。</p> <p>遊歩道の草刈りや清掃については毎年地元の「屋代を語る会」の皆さんにお願いしている。</p> <p>また、案内板については、現在設置しているものは、老朽化が進んでおり、順次新しいものと交換するよう進める。</p> <p>今後も引き続き必要な整備を行い、「市民が気軽に散策できる一重山」にしていきたい。</p> <p><b>【教育部長】</b> 地元組織である「屋代を語る会」の皆さんと協議のうえ進めてまいります。</p>

<p>・松枯れ等による倒木の危険からか、有明山将軍塚古墳周辺の入山が規制されているが、整備の見通しはどうか。</p>	<p><b>【教育部長】</b></p> <p>森将軍塚古墳と同様に国指定史跡である有明山将軍塚古墳については、森将軍塚古墳を見学した後に立ち寄りの方も多くいる。</p> <p>しかしながら、ここ1・2年の間に急激に登山道周辺の松枯れが進み、倒木の危険が増していることから、安全を第一に考え、本年4月より入山を規制している。</p> <p>有明山将軍塚古墳に向かう登山道周辺における倒木の危険性がある松枯れ木は、調査の結果30本以上にのぼることが判明している。</p> <p>ここ数年、登山道周辺の松枯れ木の伐採を定期的に行い、安全確保を図っているところではあるが、今後も引き続き伐採を行い、市の松くい防除対策等山林の保全と併せ、登山者に対する安全確保が万全となった時点で、入山の規制解除を行ってまいりたいと考えているのでご理解願いたい。</p>
--	---

給食センター

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p><b>【中村了治議員】</b></p> <p>学校給食費の無償化に踏みきる考えはどうかについて</p> <p>・平成28年12月議会でも同じ質問をし、その際の答弁では、「人口減少対策に悩む自治体の中に、子育て環境を充実させ、定住者を増やそうという政策の一つとして、小学校や中学校で提供される学校給食費を無償にする自治体が少しずつ増えてきていることは承知しております。ただ、給食費を全額無償にする場合には、相当な財源が必要となることから、保護者の皆様には引き続きご理解をいただき、ご負担をお願いしたいと考えております。」とのことだったが、その後の状況について。</p>	<p><b>【教育部長】</b></p> <p>現状としては、質問中にあった前回の答弁と同じ内容となります。経済的に厳しいご家庭の子どもたちの給食費につきましても、要保護及び準要保護児童生徒援助費において援助を行っているところであります。</p>